

エリスロポエチン（造血ホルモン）の投与時期について（2007/12/11）

#.19

Name:	チロちゃん	Age:	17歳	■投与開始時の BUN/CRE	19 / 1.6
■薬剤名	エリスロポエチン			■投与時猫体重	1.8kg

■開始年月日～終了年月日（投与回数／量） PCV／HCT の変化
2007.8.11～2007.8.15（週3回／ ） 22%～35%
自宅で飼い主が直接注射
■抗体について：
わからない
■他の貧血対策：
筋肉注射（造血作用がある）で2週間に1回してました。今は何もしてません。 【じいや補足】この注射は赤い液体とのことなので、デブちゃんに使った『ダイビタミックス』のような水溶性のビタミンかもしれません。

■飼い主さんの感想

夏ばてによる軽い狭心症による半日入院時の血液検査をした結果、貧血が進んでいたようで注射に踏み切りました。そのお陰で貧血も改善し、現在も30%台で安定しています。

主治医からエリスロポエチンは一日おきにするほうがよいとのことと注射だけのための通院は体調も安定してないときだったので自宅で注射しました。普段自宅輸液しているお陰で無理なくできました。

それから、抗体ができてしまうと今後貧血がおきてもきかなくなる可能性があるとおっしゃっていました。

《じいや補足》

Cre が 1.6 での投与だったことから、チロちゃんのケースが腎性貧血であったとは考えにくいかもしれません。

チロちゃんの先生は早め早めに対処する先生で「チロちゃんは腎不全なので、腎臓から来る貧血では？」という予測のもとでの投与であり、腎性貧血という確固たる確定診断のもとに投与されたわけではないそうです（腎不全発覚当初の BUN は 37.1、Cre は 2.2 だそうです）。

チロちゃんはこのころ（EPO 投与時）食欲がなく、振りかえると栄養不良による貧血だった可能性もあるそうです。また静脈点滴も行ったそうですが、PCV を測ったのが静脈点滴の前か後かは不明だそうです。

獣医さんによって腎不全の対処方法は、本当に様々なんだなあと感じます。

EPO については、相当貧血が進んでからでないと思わないという先生がまだまだ多いように感じますし、その結果、「赤血球数の上昇を見せなかった」と投与を中止してしまう先生の例も聞きました（ヘマトクリットや PCV が低い数値から始めれば始めるほど、上昇に時間がかかる印象があります）。

結局、腎性貧血のケアはいっさいしなかったという例もまだまだ聞きます。

チロちゃんの先生は早めに対処して維持を目指す！という考え方のもと、貧血の数値にも常に目を配っている先生だということです。

このとき以外に EPO が必要になったこともなく、定期的な皮下輸液を自宅で行うことで、今もツヤツヤのいい状態を保っているそうです。